

HSBCマルチアセット・スタイル・ファクター戦略

Monthly strategy update

2025年4月

設定来リターン¹の推移



月次超過リターン（対キャッシュ）	+0.5%
年初来リターン	+3.0%
設定来年率リターン ¹	+2.9%
年率ボラティリティ	4.9%
運用資産残高（億円）*	1,323
代表ファンドのBloomberg ティッカー（ICシェアクラス）	HSBMAIC LX Equity

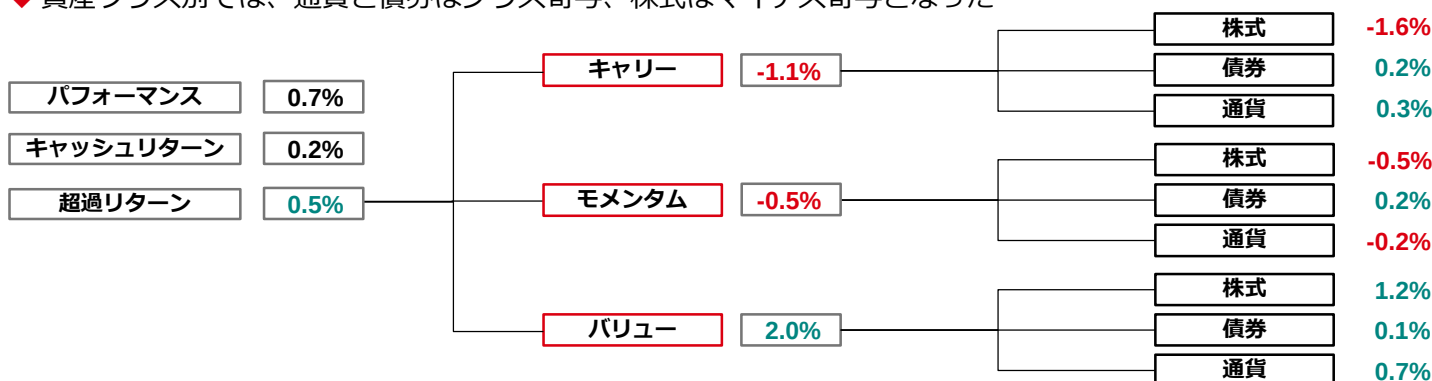
リターンはユーロベース、費用控除前、2025年3月末現在

*819百万ユーロをEUR/JPY = 161.53で円換算
(2025年3月末のWM Reutersの為替レートを使用)

¹当戦略の設定日は2015年4月28日、代表ファンド（ルクセンブルク籍ファンド）の設定日は2016年10月7日です。

月次超過リターンの要因分析

- ◆ ファクター別では、バリューはプラス寄与、キャリーとモメンタムはマイナス寄与となった
- ◆ 資産クラス別では、通貨と債券はプラス寄与、株式はマイナス寄与となった



当戦略運用開始以降の月次リターン（キャッシュに対する超過リターン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
2025年	0.5%	1.3%	0.5%										2.3%
2024年	0.2%	0.7%	1.5%	0.9%	1.6%	-0.5%	-1.3%	0.3%	-0.0%	-1.2%	-0.2%	1.1%	2.9%
2023年	0.6%	0.6%	-2.1%	0.5%	-1.3%	1.5%	-0.1%	-1.0%	1.1%	-0.2%	0.5%	-0.1%	0.1%
2022年	0.7%	-0.8%	1.3%	-0.2%	0.9%	-1.3%	-0.8%	1.8%	0.6%	1.5%	-1.2%	-0.6%	1.9%
2021年	1.2%	-1.4%	-0.5%	0.3%	0.5%	0.3%	-0.5%	-0.4%	-0.5%	-1.2%	-0.4%	1.0%	-1.5%
2020年	3.8%	-0.1%	-1.7%	0.7%	0.9%	-0.7%	0.5%	0.4%	-0.1%	-1.7%	-0.5%	-0.2%	1.2%
2019年	1.5%	0.8%	0.6%	1.1%	-0.7%	1.1%	2.0%	1.1%	1.6%	-1.2%	2.1%	-0.6%	9.7%
2018年	2.7%	-0.8%	1.1%	-1.5%	-0.9%	0.8%	0.0%	0.1%	2.3%	-0.1%	-1.6%	1.0%	3.2%
2017年	2.6%	0.0%	1.0%	0.1%	-0.2%	1.0%	-1.4%	-0.9%	3.1%	0.0%	-0.1%	-2.1%	3.0%
2016年	4.5%	0.7%	-0.1%	2.9%	0.3%	2.8%	1.3%	-0.3%	1.3%	-0.5%	-1.7%	-1.0%	10.4%
2015年					-1.3%	-1.9%	0.5%	-0.3%	-0.1%	-1.4%	-1.3%	-2.0%	-7.6%

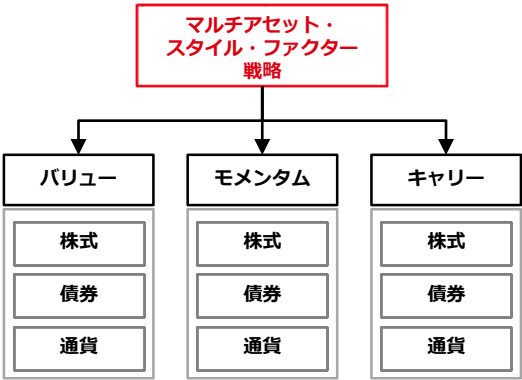
上記は過去のパフォーマンスであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。リターンはユーロベース、費用控除前
出所：HSBCアセットマネジメント、2025年3月末現在

戦略の特色

投資目的	伝統的資産クラスとの低相関を重視し、長期的なトータル・リターンを獲得を追求
平均予想ボラティリティ	年率6～8%
投資アプローチ	厳選されたスタイル・ファクターに対して、システムティックにエクスポージャーをとり、分散されたポートフォリオを構築

スタイル・ファクター × 資産クラス

- ◆ 分散された「スタイル・ポートフォリオ」
バリュー、モメンタム、キャリーの3つのスタイル・ファクターと3種類の資産クラスを掛け合わせた9つの「スタイル・ポートフォリオ」に投資。最終的に1つのポートフォリオに統合
- ◆ システムティックかつルールベースの運用
3つのスタイル・ファクターに均等にリスク量を配分。株式、債券、通貨へのシステムティックなエクスポージャーを通じて、分散された「スタイル・ポートフォリオ」を構築
- ◆ 流動性が高くコスト効率に優れたアプローチ
流動性が高いデリバティブのみに投資。ロング／ショートを用いて、キャッシュ・ニュートラルのポートフォリオを構築



投資目的および予想ボラティリティは、当社が推奨する3年以上の投資期間を考慮したものです。また、当社がその達成を保証するものではありません。上記は例示のみを目的としており、ファンド、マンデート、市場環境により異なる場合があります。

出所：HSBCアセットマネジメント、2025年3月末現在

- ◆ マルチアセット運用におけるHSBCの強み
- ◆ 20年以上にわたるマルチセット運用の豊富な経験、強固なトラックレコード
- ◆ マルチアセット全体の運用資産残高は約1,510億米ドル（2024年12月末現在）
- ◆ 機関投資家のお客様の多様なニーズに応じた幅広い運用戦略

ご留意事項

- ◆ 当資料は、HSBCグローバル・アセット・マネジメント（フランス）が作成した資料をもとにHSBCアセットマネジメント株式会社（当社）が当社の運用戦略をご説明するために作成したものであり、金融商品取引契約の締結に係わる勧誘や投資一任契約の媒介を目的としたものではありません。当運用戦略は、HSBCグループへの運用再委託を行う、もしくは投資一任運用または投資信託の運用を行ううえで外国籍投資信託を組み入れることを前提としています。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績又は予想を示したものであり、将来の成果を示すものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。
- ◆ 当資料のお客様以外への再配布はお控えいただきますようお願い致します。

【リスクについて】

当資料でご紹介する運用戦略は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。従って、投資元本が保証されているものではありません。

【費用について】

当運用戦略のご紹介においては運用に係る手数料・報酬等の金額および計算方法等を予め示すことはできませんが、一般的には、以下のような手数料がかかります。

投資信託にて投資する場合：一般的には、取得時には申込手数料、保有時には信託報酬、監査費用、換金時は解約手数料、信託財産留保額がかかります。監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に受益者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨資産の保管費用、信託財産における租税費用等が実費としてかかります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）等をご覧ください。

投資一任契約や投資顧問契約の場合：個別契約毎に運用報酬や投資信託への投資に係る費用が発生します。詳しくは契約締結前交付書面をご覧ください。

HSBCアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号
加入協会 一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会